

読むことの教材研究 NO1					資料4								
【 物語文教材の系統表 】							低学年		珠洲市立飯田小学校				
学年		1 年			2 年								
学期		1 学期	2 学期	3 学期	1 学期			2 学期		3 学期			
単元		想像を広げながら読もう	こえにだしてよもう	おはなしをたのしもう	音読しよう	お話を読んで、かんそうを書こう		本はともだち	音読げきをしよう	お話のじんぶつと自分をくらべて読もう	読んだお話をしようかいしよう		
教材名		「おむすびころりん」	「くじらぐも」	「たぬきの糸車」	「ふきのとう」	「スイミー」		「黄色いバケツ」	「お手紙」	「わたしはおねえさん」	「スーホの白い馬」		
ねらい		場面の様子や登場人物を想像しながら読むことができる。声を出して読んで言葉の響きやリズムに注意しながら昔話を楽しむことができる。	場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出してよむことができる。音読のよいところを見つけて感想を伝え合うことができる。	語のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。登場人物の行動を中心に、場面の様子に注意して読み、想像を広げることができる。	場面の様子について、人物の様子や会話を中心に想像を広げて読み、役に分かれて声の大きさや速さを工夫して音読することができる。	場面の様子について、人物の行動や場面の様子を想像しながら読み、大事な言葉や文を書きぬき、それをもとにして感想を書く。		場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んで、感想をもつことができる。また、紹介文に必要な人物の人柄について説明するための情報を集めることができる。	場面の様子について登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をする。	登場人物の行動や場面の様子から想像を広げながら読み、自分の経験と結び付けて、感想をもつことができる。	場面の様子について登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、自分の感想の中心をとらえる。また大事な言葉や文を書き抜き、あらすじをまとめる。		
単元を貫く言語活動		「おむすび ころりん」の音読発表会をしよう (おじいさん、ねずみなどの役になりきって音読をしよう)	ペープサートで劇遊びをし、続き話を考えて発表しよう	「たぬきの糸車」の紙芝居を楽しもう (好きなところを絵と文に表して楽しもう)	音読発表会をする	お話を読んで、感想を書く		本の世界で見つけた友だちの紹介文を書く	「お手紙」の音読劇の発表会をする(役になりきって音読をする)	お話のじんぶつと自分を比べて読み、お話の続きを作る	心に残ったお話の発表会を開こう (あらすじ、好きなところを紹介文にして発表する)		
5つの言語意識	相手	学級のみんなに(全校のみんなに)	学級のみんなに(全校のみんなに)	新1年生に	おうちの人に	学級のみんなに(全校のみんなに)		全校のみんなに	1年生に	学級のみんなに	全校のみんなに		
	目的	場面の様子や登場人物の様子がわかるように	場面の様子を想像し、その様子を伝えるために	登場人物の様子や気持ちを想像したことを伝えるために	場面の様子が聞く人に伝わるように	想像を広げ、感じたことを伝えられるように		本の世界で見つけた友だちを紹介するために	場面の様子や登場人物の様子がわかるように	登場人物の心の成長が読む人に伝わるように	読んだお話を紹介するために		
	場面	音読発表会で	ペープサート劇発表会で	紙芝居発表で	音読発表会で(授業参観で)	単元のまとめで		階段の踊り場の掲示板上に掲示して	音読劇の発表会で	お話発表会で	お話発表会で		
	方法	場面の様子を想像したり、読みとったことを生かして	場面の様子が表れるように友だちと声をあわせて	自分の好きなところを見つけて絵や文に表わして	場面の様子について想像したり、読みとったりしたことを活かして	場面や人物の様子を想像したり、読みとったことを活かして		場面や人物の様子を想像したり、読みとったりしたことを活かして	場面や人物の様子を想像したり、読みとったりしたことを活かして	登場人物の行動や場面の様子から読みとったり、自分の経験と結び付けて考えたりしたことを活かして	読んで感じたことの中心を捉えて		
	評価	おじいさんになりきって音読しているか	くじらぐもや子どもたちになりきって続き話をつくって発表しているか	登場人物の様子や気持ちを想像して表現しているか	役になりきって声の大きさや速さを工夫して音読しているか	大事な言葉や文を書き抜いて感想を書いているか		感想をもち、人物の人柄が伝わるような紹介文を書いているか	人物の様子や気持ちが表れるように音読しているか	中心人物と自分を比べてお話の続きを書いて伝えているか	大事な言葉や文を書き抜き、あらすじをまとめて発表しているか		
段落		意味段落9	意味段落5	意味段落15	意味段落8	意味段落5		意味段落8	意味段落3	意味段落4	意味段落6		
文章構成		七五調でまとめられている。(リズムにのりやすい)	くじらと子どもの会話文を中心にして場面がかわる。(くじらと子どもになりきって)	絵や擬音の効果などでたぬきとおかみさんの行動や場面を想像できる。	繰り返しや対句、脚韻などの詩的表現が散りばめられている	スイミーの行動や会話を中心にして場面が移り変わる		月曜日から次の週の月曜日まで、中心人物とバケツの1日1日のやりとりによって、場面が移り変わる	「がまくんの家→かえるくんの家→がまくんの家」と場面が移り変わる	児童と等身大である中心人物が、十月のある日曜日に宿題に取り掛かる際の時間の流れに沿って場面が移り変わる	前書き→1～4場面→結び		
学ばせたいこと	読むこと	○音読の工夫(繰り返しやリズム) ○場面の様子 場面の様子が伝わるように、登場人物になりきって音読することができる	○音読の工夫(会話文のやりとり) ○挿絵と場面の変化(現実―空想―現実) 会話や言葉(叙述)をもとに場面の様子を思い描いたり、登場人物の気持ちを想像したりすることができる	○音読の工夫(昔話の口調) ○挿絵 ○擬音・擬態語 ○たぬきの内言 ユーモラスな情景から、たぬきとおかみさんの心の交流を想像することができる	○音読の工夫(声の大きさや速さ) ○場面の様子 場面の様子が伝わるように、登場人物になりきって音読することができる	○人物の行動 ○場面の様子 ○感想の表現法 人物の行動や、場面の様子を想像し、感想を書くことができる		○人物の行動 ○場面の様子 ○人物に共感できるところ、人物に似ているところ ○好きなところ、よかったところ	○音読の工夫(声の出し方) ○場面の様子 場面の様子が伝わるように、登場人物になりきって音読することができる	○人物の行動、言動 ○場面の様子(時、場所、出来事) ○自分の体験や気持ちと重ねる	○あらすじのまとめ方 ○物語の流れ ○場面の様子		
	用語	会話文・登場人物・くりかえしの言葉	会話文、登場人物、挿絵(くじらと子どもの位置)	会話文・登場人物	人物、様子、音読、場面、会話	たとえ、感想、人物、様子、行動、場面、会話		人物、行動、様子、場面、会話	音読劇、場面、様子、行動、会話、動作	人物、様子、場面、行動、会話	あらすじ、場面、様子		
関連教材		「おおきなかぶ」1上 「くじらぐも」「たぬきの糸車」1下	「たぬきの糸車」1下	「まのいいりょうし」1下	「くじらぐも」1下 「きつつきの商売」3上	「くじらぐも」1下 「ずうっと、ずっと、大すきだよ」1下 「海をかつとばせ」3上 「ちいちゃんのかげおくり」3下		「ずうっと、ずっと、大すきだよ」1下 「海をかつとばせ」3上 「いろはにほへと」3上	「くじらぐも」1下 「きつつきの商売」3上	「だってだってのおばあさん」1下 「海をかつとばせ」3上 「ちいちゃんのかげおくり」3下	「たぬきの糸車」1下 「だってだってのおばあさん」1下 「モチモチの木」3下		
意識させるキーワード		まてまてまて、これはこれはおもしろい、ころころころりん、すつとんとん	～が、～も、(くじらと子どもの動作や言葉の対応)	いたずらもん、かわいいなあ、キーカラカラ・キークルクル、	したこと、言ったこと、様子、音読の工夫	したこと、言ったこと、様子、どんな人物か、感想の言葉		したこと、言ったこと、どんな人物が表す言葉、感想の言葉、自分だったら	したこと、言ったこと、出来事、様子、気持ち、音読の工夫、自分だったら、動作	したこと、言ったこと、出来事、様子、気持ち、自分だったら、自分と比べる	したこと、出来事		
筋道を立てて説明する		好きな場面・人物・表現等が選べて、簡単な理由、意見が言える。	好きな場面・表現を「いつ・どこで・何をしたか」を入れて話すことができる。	場面ごとに登場人物の気持ちや様子を想像し、言葉の付け足しの理由を話すことができる。	場面や人物の様子に合った音読の工夫を考え、理由をつけて話すことができる。	想像したこと、感じたことを根拠や理由と順序立てて話すことができる。		思ったことや感じたことを、根拠や理由と共に話すことができる。	人物の様子や気持ちに合った音読の工夫を考え、説明することができる。	人物について読みとったことと自分の経験とを比べて、感じたことを順序立てて話すことができる。	あらすじを、叙述から抜き出した根拠をもとに、順序立てて書く。		
単元まるごと活用									「スイミー」を題材として、場面の様子や登場人物の様子がわかるように音読劇をする。		「お手紙」を題材に、読んで感じたことの中心をもとに、あらすじを、叙述から抜き出した根拠をもとに順序立てて書く。		
その他		日本のむかしばなし「花咲いゝさん」「かぐや姫」「浦島太郎」などを読み聞かせする	中川李枝子の作品「そらいろのたね」「かえるのエルタ」の並行読書をする	民話「ねずみのすもう」の読み聞かせをする		レオ＝レオ二著のシリーズ本の並行読書をする		きつねの子のシリーズ本の並行読書をする	がまくんとかえるくんのシリーズ本の並行読書をする	「すみれちゃん」「すみれちゃん是一年生」を並行読書する	昔話や様々な国の民話を並行読書する		